

# 「生きる力」再生の場に

## 宇都宮・メディカルカフェ5年

### 200人参加し意見交換

【宇都宮】がんをはじめとする病気の悩みを気軽に相談できる「まちなかメディカルカフェin宇都宮」(がんカフェとちぎ主催)が、約200人が参加した。

の5周年記念講演会が22日、本町の県総合文化センター特別会議室で開かれ、約200人が参加した。



失意の中にいる人への支援について意見交換したまちなかメディカルカフェ5周年記念講演会

テーマは「いのちを背負って」。1部は日本臨床宗教師会副会長で、東日本大震災被災者の傾聴活動を行っている宮城県栗原市、住職金田諦心さんが講演。絶望的な悲しみを抱える被災者に対する傾聴活動は「五感やイメージをフル稼働して心の声を聞く」とし、その上で「生き残ったことは必ず何か意味がある」と被災者に伝え、寄り添うことの大切さを強調した。また地域の持つ伝統文化や行事が「レジリエンス(自己再生能力)」の一助になることを紹介した。

2部は金田さんが般若学外来理事長で順天堂大学教授の樋野興夫さん、同カフェに携わる医療従事者らが講演を踏まえてパネルディスカッションを行った。

病で失意のどん底にいる人にとって「メディカルカフェなどが生きる力を再生する『場』の一つになる」「再生とは苦しみを背負って歩く方法が見つかった時」などの意見が交わされた。(藤田りか)

傾聴活動は

演。絶望的な悲しみを抱える被災者に対する傾聴活動は